



十西小だより

弥富市立十四山西部小学校

学校だより 第12号 令和6年6月28日



キラキラタイム

今年度、毎週金曜日の朝はキラキラタイムの時間が設定されています。キラキラタイムでは、友達との関わりを深める時間として、ちょっとしたゲームを行ったり、アドジャンというトークタイムを設けたりしています。アドジャンとは、3人から4人のグループでじゃんけんのように「アドジャン」と言いながらグーか指を一本だけ出すことから始まります。グループで出された指の数の合計で話題が決まるシステム（この数になったらこの話題と提示あり）です。一人ずつその話題について話し、質問を受け、それに対して答えるという流れで進められていきます。話題は「飼うなら犬と猫どっち？」「1か月お休みがあったら何をする？」等なんでもない話題なのですが、意外にこれが盛り上がり、わいわいと楽しい雰囲気では話が弾んでいる学級が多いです。今は学級で話すことが多いですが、今後は縦割り班など異学年でもこのような取組をやってみよう計画しています。多くの子と積極的に関わりをもち、よい人間関係が形成できるような経験を重ねたいと考えています。

JICAの講師 をお迎えして



26日(水)、6年生の総合的な学習の時間に、JICAの講師を迎えて国際理解の学習をしました。来校された講師の先生は、もともと小学校の先生でしたが、カンボジアへ渡り、現地の先生方に算数の教え方を指導されていたそうです。そんな中でカンボジアの文化や生活に触れ、この体験で得た事を日本の子どもたちに伝えたいと任務を終え、帰国されたそうです。

まずは、カンボジアの民族衣装を身にまとい登場し、カンボジアの母語であるクメール語で自己紹介をされました。そして、国の位置や気候、特色、歴史、学校での生活、食べ物など魅力的なお話を2時間していただきました。「日本との違いに『なんでだろう？』と不思議に思うことがあると思いますが、それが大事。そこから、調べたり、ほかの国はどうなんだろうと興味を広げたりしてほしい」と話をされました。カンボジアは気温が高く、フルーツも豊富に収穫できるようで、バナナの花をスープに入れたり、まだ熟していないマンゴーの実を薄くスライスしてサラダに入れて食べたりするなど、日本では聞いたことがないお話も伺うことができ、大変興味深かったです。

6年生は、今後さまざまな国について調べていくことになると思いますが、今回の学習がよいきっかけとなることを願っています。

クメール語の数字です

カンボジアはどこかな？
地図帳で調べよう



現地の小学校の様子です

